

世界の崩壊をくい止めるには (2021 年 8 月 24 日、10 月 11 日収録)担当:石田 2021 年 11 月 27 日

- 1 まえがき:「島国根性」ヤイドロンからの一喝、最後は主が YD らと相談して決断する。
- 2 第 1 章:アフガンの件、バイデンを融和主義者と見た闇勢力の、世界を分断する企みだ。
- 3 ミャンマーへ介入も一年前から C 国計画、アメリカの弱体化を狙い、世界の流れが変化。
- 4 民主主義的価値観と共産主義的一元管理人治主義の間の世界戦争が起きている。オセロ
- 5 コロナの次は「炭疽菌」攻撃だが、コロナと同じでなぜ C 国で漏れたのか、語れない。
- 6 霊的な目で見ると、アーリマン系の他にも表に出ない闇勢力がまだいる。C 国救世主宣伝という作戦(失敗)。グレタ(温暖化)と C 国による西欧挟撃作戦。イスラム圏の在家主義という弱点を狙って、唯物論国家に繋げようと画策中。C 国によるインド包囲網戦略。
- 7 人類が「この世が全てではない」と気づくまでは、さまざまな災害が続き、やがて地球意識の“爆発”が起きる。大陸陥没、地軸変化も。日本はハワイのような過ごしやすい気候に。
- 8 ムー浮上はもっと先、その前に火山噴火などが多発。富士山よりは白頭山のほうが先。
- 9 新しい形態での第三次世界大戦はもう始まっている。その認識がトラにはあるが、ウメには無い。
- 10 トラは(国家を再建し)軍事的にも強国を目指して世界を護る決心。それがウメの米国には繋がっていないので日本を護る気が無い。中国は人工衛星に核兵器搭載の可能性も。
- 11 総裁の「宇宙人は働かない、やる気がない」発言は一部当たっている、大義名分が無いと“宇宙戦争”に見えてやり難い。ヤイドロン(モーゼ、マンデラ)のグルグル思考の表われか?
- 12 日本人の“他人事精神”は直すべき。*Trump* 支援、ワクパス政策などに関心が薄い「島国根性」。今、そのために天御祖神が降臨し武士道精神を説いている。EC が説いても動かない日本には悲劇的な状況が起きる。善悪を分けて決然とした行動をとるのが本来の日本人である。
- 13 台湾が取られたら、確実に沖縄は取られる。C 国は極東からの米軍撤退を狙っている。HRP 立党に国民が応じなかったのは滅びのスケジュール、神道霊が反省を求めている。
- 14 問題は騙し行為。「マスコミ型民主主義」が機能せず、嘘が放置され、世界正義が通らない。C 国の掃除機に吸い込まれ、宗教消滅の流れを知るべき。日本には荒ぶる神が必要。
- 15 今のままなら、人口半減になる。中国・イスラム 40 億人 vs 欧米民主主義国 40 億人の戦い。どちらを消すか、正直に言えばエルカンターレが出ているのだから C 国は滅ぼす。
- 16 C 国は先進国の首を絞める目的で“温暖化問題”を操作しているが、残念ながらマスコミが潰れ、作戦は失敗。世界制覇の兵線が延びきったところで、C 国の経済を崩壊させる。
- 17 マスコミ(Y 資本)まで C 国に蹂躪されているが、Y 資本による主導権の奪還を期待する。
- 18 悪の存在は「魂の自由性」と関連、「選択の自由」によって智慧を磨く“悪の有効利用”。
- 19 モーゼ(ユダヤ)は優柔不断マゾッ気がある。日本は米以外に戦勝、英・独・仏・露に勝利し、インドを独立させアジアを開放した。天御祖神「戦うときには戦う」「武士道精神」
- 20 イスラエルとイスラムの問題は「大川隆法」が決め、どちらかが滅び、十年内に決着。バイデンの米国は悪い方向に進んでいるので、(敗戦国意識を脱して)日本から発信すべき。
- 21 第 2 章:交信の間が空いたが、台湾が最大の危機になってきた。習近平の戦略は孫子の平法「戦わずして勝つ」が主体。台湾が一国二制度受け入れように圧力 2025 年迄に武力格差をつける 2030 年までに米国と完全な勢力逆転。年末年始に緊張状態が高まる。
- 22 GAFA は「二股外交」だったが、母国を決める必要が出てきた。*F* が *M* に変更で *MAGA*
- 23 現状の地球、最後はエルカンターレの「考え」でやる。C 国に無差別殺戮があれば主の許可を取るが地球外の武器を使ってダメージを与える。『愛国女子 紅武士道』映画植福の意味。